

日本岩石鉱物鉱床学会平成 15 年度第 2 回評議員会議事録

日時：平成 16 年 5 月 12 日(水)12:30～13:30

場所：幕張メッセ 国際会議場 204 会議室

出席者：荒井会長，小山内，小畑，奥山，西山，藤巻，吉田，有馬，石渡，榎並，大谷，佐藤，谷口，土山，宮下各評議員 (15 名)，工藤会計常務委員，中村庶務委員

欠席：周藤，鈴木，田切，幢崎，平島，前田，松枝，松原，宮嶋，板谷，加藤，貴治，富樫，中川，林，廣井(16 名)

議 題

・報告、承認事項

1. 庶務報告（谷口庶務常務委員）
新年度開始の昨年 9 月以降に平成 14 年度総会・学術講演会各 1 回、平成 15 年度評議員会 1 回、常務委員会 1 回が開催されたとの報告が行われた。
2. 編集報告（藤巻岩石鉱物科学編集委員長）
(1) 平成 16 年 5 月 11 日(火)に第 1 回「JMPS」編集委員会を開催したとの報告があった。
(2) 5 月 8 日時点での編集状況報告が行われた。
3. 行事報告（小山内行事常務委員）
2004 年 5 月 9 日（日）～13 日（木）幕張メッセ国際会議場開催の合同大会、平成 16 年 9 月 23 日(木)～24 日（金）に岡山大学津島キャンパスで開催予定の日本岩石鉱物鉱床学会平成 15 年度総会並びに学術講演会，2005 年開催平成 16 年度岩鉱学会開催が愛媛大学で開催予定されているとの報告が行われた。
4. 会員報告（平島会員常務委員：代理吉田常務委員）
平成 15 年 9 月 25 日～平成 16 年 5 月 8 日までの入会(大学院・学生会員 8 名、購読会員 2 件、復活会員 9 名)、退会(正会員 8 名、購読会員 6 件)について報告が行われた。
5. 会計 平成 15 年度中間報告（工藤会計常務委員）
平成 16 年 4 月 21 日現在の中間報告が行われた。
6. 科研費問題検討小委員会報告（西山委員長）
平成 17 年度科研費補助金審査委員の岩鉱学会推薦者について報告が行われた。
7. 日本学術会議研連報告（石渡研連委員）
日本学術会議研連についての報告が行われた。
8. その他（各種委員会報告）
 - (1) 地学教育・一般普及教育委員会(奥山委員)
・初等中等教育における岩石・鉱物分野の取り扱いについてアンケート調査を行い、回答数 27 を得た。現在、分析・提言案について検討中である。回答数については、本委員会掲示板に公表してあるのでご覧いただき、ご意見をお願いしたい。
 - (2) IMA 2006-Kobe 組織委員会（大谷委員）
・日本学術会議との共催が認められた。
・開催準備のための科研費（基盤 C・研究代表者：大阪大学山中氏）が認められた。
・神戸市から無利子で 300 万円の貸与があり、1st circular の印刷費等に充てられる予定。
 - (3) 地質学研連報告（小山内評議員）
 - (4) 鉱物学会との学会統合 WG の検討報告(吉田担当委員)
以下の点について一つ一つ検討し、統合に向け努力する必要がある。岩鉱学会の運営が東北大学に依存している点・事務統合の方法・両学会共通会員の会費値下げの件・統合後の学会名等。
 - (5) その他：宮下評議員より日本学術会議における特別シンポジウム『グローバルな情報発信機能の強化に向けて 日本

発科学技術誌の強化』が開かれ、日本の欧文誌の地位低下や電子ジャーナル化への対応について検討された旨、報告があった。詳しくは日本地質学会ニュース 7(4)p8-9 に掲載されている。

・審議事項

1. 平成 15 年度渡邊萬次郎賞審査委員会報告
吉田渡邊萬次郎賞審査委員会委員長より、審査委員会にて第 19 回受賞者として久城育夫会員を推薦することになった旨が報告され承認された。
2. 研究奨励賞・論文賞審査委員会報告
小畑研究奨励賞・論文賞審査委員会委員長より、岩石鉱物科学誌上に 5 月 31 日締切で推薦の公募アナウンスを掲載したがまだ 1 件の推薦もない旨の報告があった。また、改定研究奨励賞、論文賞制定による会則・運営細則改正について、下記改正文案が検討され承認された。

現行の会則・運営細則

研究奨励賞 第 9 条

- (1) 本会は会誌に発表された少壮研究者の優秀な論文について研究奨励賞を授与することがある。
- (2) 研究奨励賞授与論文の選考は別にさだめた表彰規則ならびに審査委員会内規に従う。

改正文

表 彰 第 9 条

- (1) 研究奨励賞：本会は研究の奨励を目的として少壮研究者を表彰するための研究奨励賞を授与することがある。選考は別に定めた研究奨励賞表彰規則とその内規に従う。
- (2) 論文賞：会誌に発表された論文の中から独創的で当該分野に寄与の大きい優れた論文の著者を表彰するため論文賞を授与することがある。選考は別に定めた論文賞表彰規則とその内規に従う。
3. 鉱物学会業務委託の件
吉田担当委員より、鉱物学会からの岩鉱学会への次年度業務委託費は、昨年通り 59 万円とする旨が提案され、承認された。
4. 次期会長候補者の件
佐藤会長候補者推薦委員会委員長より以下の報告があった。
・GKK33 巻 1 号に推薦公募を掲載したがまだ推薦はなく、近いうちに推薦を行う予定である。できれば複数の候補者を推薦したいと考えている。
5. その他
 - (1) 地学教育・一般普及委員会より
・高等教育部門の委員担当として、大場司会員（東北大・院理）の推薦があり承認された。
・石渡明委員の辞任と、酒寄淳史会員（金沢大・教育）の後任推薦が承認された。
・9 日の合同学会・地学教育委員会にて、平成 18 年度以降の大学入試センター試験「地学」出題方式（「理科」内でのグループ分け）に関する要望を、地球惑星科学関連全 20 学会会長名で出す方針が決まった旨が報告され、岩鉱学会としても承認することとなった。
 - (2) 荒井会長より、国際惑星地球年(International Year of Planet Earth (IYPE), 2006)国内準備委員会開催へ派遣依頼の件（下記）が諮られ、有馬評議員が出席することとなった。
 - (3) 谷口庶務常務委員より庶務常務委員辞任の希望が出され、後任について検討することとなった。